

小学校第5学年 総合的な学習の時間学習指導案

単元名：「伝えよう！ 命の守り方」

指導者 熊野町立熊野第一小学校 岡澤 秀之

- 1 日 時 令和4年11日（火）3校時
- 2 場 所 5年1組教室
- 3 学年・学級 第5学年1組（26名 男子14名 女子12名）



単元について

近年、季節を問わず頻発する様々な自然災害は、日本各地に甚大な被害をもたらしている。本校においても、平成30年7月豪雨災害を経験したことや、今年に入っても避難指示レベルの豪雨を経験していることから、自分たちの命を守ることにについて考えることは喫緊の課題と言える。

本単元は、熊野町の安心・安全について自ら課題を見付け、防災・減災について情報収集したことをまとめ、発信しながら、探究のプロセスを学ぶとともに、友達と協働して課題を解決したり、積極的に社会参画にしたりしようとする態度を養う上で、大変重要であると考えている。さらに、防災・減災について学び、地域の安心・安全を見つめ直すことは、平成30年7月豪雨の被災地である熊野町に住む児童にとって身近なこととして捉えやすく、価値ある学習活動であると考えている。防災・減災に関わる地域の人とのつながりを広げながら学習を進めていくことで、ふるさと熊野への思いも深めていきたい。

本単元を通じて、熊野町の防災・減災対策についての未来を思考する次世代の担い手やつなぎ手を育てることはもとより、再び起こり得る災害への対策を児童が継続して行い、学びを校外に発信することを通して、表現力の育成のみならず、家庭や地域の防災・減災対策を促進していきたい。

児童の実態

本学年の児童は、昨年度の総合的な学習の時間の「UD公園をつくろう」という福祉を探究課題とした単元において、熊野町の都市整備課に協力してもらいながら、クラスごとに公園のUD化を図る経験をし、みんなで住みやすい町づくりについて考えてきた。

防災に関して、本学級では、平成30年西日本豪雨について（児童は小学1年生の時）全く覚えていないという児童が12名とおよそ半数程度いることが分かった。そこで、1学期には、「災害について知ろう」の単元で、熊野町東防災交流センターを見学したり、広島県みんなで減災推進課の出前授業において、土砂災害をVRで疑似体験したりしている。また、書籍やインターネット等を活用して調べたことを、国語科「みんなが過ごしやすい町へ」の単元と関連させてまとめ、クラスで交流した。そこでは、個々が興味を持って調べたことを、防災と結びつけながら意欲的に調べ、表現することができた。しかし、体験的な学習ができたことを楽しいと感じた児童の方が多く、広島で災害が起こったことを「大変だったんだな」と他人事のように捉え、災害時の行動が、命を左右することや、防災・減災の取組が大切な命を守ることに繋がるということを意識できている児童は少なかった。また、7月に大雨が降り、避難指示が出たが、実際に避難した家庭はなかった。そこで、どうして避難しなかったのか考えさせたところ、災害のことを分かったつもりになっていたが、本当の恐ろしさを分かっておらず、自分たちの防災への意識が低いことに気付いた。そこで、災害の恐ろしさを正しく知り、それらを多くの人に伝え、自分たちや多くの人々が命を守る行動をとることができるようにしないといけないと考え始めている。

以下に示す表は、今年度、総合的な学習の時間と育成を目指す資質・能力、また、本単元の学習に係る事項について行ったアンケート調査の結果である。

	肯定的回答		否定的回答	
	よくあてはまる、好き	ややあてはまる、まあまあ好き	あまりあてはまらない、あまり好きでない	全くあてはまらない、嫌い
① 総合的な学習の時間は好きですか。	7名 28%	10名 40%	7名 28%	1名 4%

② ①で肯定的に回答した人へ、 どんなところが好きですか。	・色々なことを調べて知ることができて楽しいから。・見学や体験で大切な話などを聞けるから。・自分の地域を知ることができるから。・グループで話し合っ計画できるから。・調べたことをまとめることが好きだから。・自分たちの生活に生かすことができるから。・グループで話し合ったり自分で考えたりすることが好きだから。			
③ ①で否定的に回答した人へ、 どんなところが嫌いですか。	・考えることが苦手だから。・たくさん考えないといけないから。・調べることが苦手だから。・発表するのが苦手だから。			
④ クラスや学年で自分の考えを 発表したり、表現したりする ことは好きですか？その 理由も教えてください。	3名 12%	10名 40%	10名 40%	2名 8%
	【肯定的回答の理由】 ・自分の考えを知ってもらえるのが楽しいから。・いい発表をしたいという気持ちになるから。・自分とは違う考えを知ることができるから。・発表を通して何かのヒントを得られるから。 【否定的回答の理由】 ・どう表現したらいいかわからなくなるから。・間違えたらどうしようと思うから。・人前での発表が苦手だから。・恥ずかしいから。			
⑤ 防災について、自分は色々知 っている、行動している、考 えていると思いますか。	1名 4%	16名 64%	6名 24%	2名 8%
⑥ 家で防災に関する取組を行 っている人はどんなことを していますか。	・高いところへ物を置かない。・防災リュックを用意している。・防災グッズを用意している。・非常食を備えている。・水を買いだめしている。・懐中電灯がつか確認している。・避難所を確認している。ハザードマップを確認している。・マイタイムラインで計画を立てている。			
⑦ 平成 30 年豪雨の時のことで 覚えていることがあれば書 いてください。全く記憶がな い人は、覚えていないと書い てください。	・大雨で停電になった。溝があふれていた。裏の池から水が流れてきて、庭が川みたいになった。・母が仕事から帰るのが遅くなった。・近くの家が土砂でつぶれた。・親戚が避難してきた。・友達が避難してきた。・強い雨で眠れなかった。・家の近くの川が氾濫した。・山に茶色い場所が増えた。・近くの用水路が水でいっぱいになって、流れが速かった。			覚えていない 12名 48%
⑧ 今後防災の学習でどんなこ とを試してみたいですか。	・災害に備えた家の模型を作りたい。・ハザードマップに載っているところ以外に危険箇所がないか調べたい。・避難場所がいっぱいになったらどうするのか知りたい。・便利な防災グッズについて詳しく知りたい。(触ったり使ったりしてみたい)・西日本豪雨で避難所に避難した人の数を知りたい。・避難した後の生活について知りたい。・実際に被災した人の話を聞きたい。・災害が起こった時(起こりそうなとき)の安全な避難の仕方を知りたい。・砂防ダムの仕組みやどんな働きがあるのか知りたい。・災害が起こるとどのような感じなのが体験してみたい。・災害に対して熊野町はどのような対策を取っているのか知りたい。・災害が起こった時、町はどのような動きを取るのか知りたい。			

総合的な学習の時間については、約7割の児童が好きと肯定的に答えているが、あまり好きではないと否定的に回答した児童の③の理由は、ほとんどが総合的な学習の時間の整理・分析、まとめ・表現の過程に関わる内容である。また、本校が育成したい資質・能力に設定している「自分の考えを表現する力」については、④の回答を見ると、半数近くが否定的に回答している。表現することへの自信のなさや、失敗したくないという理由で前向きに表現できていない状況があるように考えられる。反対に、①・④で肯定的に回答している児童は、みんなで話し合うことでいろんな意見を知ることができるか、みんなが意見を出し合うことでより良い考えが生まれたりすることの喜びなどを記述している児童が多い。これは、協働的な学びの良さを体感・実感することで自信をもち、安心して表現できるようになっていることだと考えられる。

これらのことから、本単元では、特に「協働する力」の育成につながる協働的な学びの場に重点を置き、友達と共に学び、友達の考えの良さを見つけることで自分なりの考えをもつことができるようにしたい。「命を守るために、今の自分にできることは」と繰り返し考えていくことで、友達と共に学ぶことで友達の考えの良さを見つけることを通して自分なりの考えをもつことができるようにし、友達と学ぶことの喜びを味わわせたい。このことによって、児童が「自分の考えを表現する力」を高めていけるようにしていきたい。そして、「ふるさとを守るために、命を守るために伝えていこう」という思いや、行動することでの達成感を抱ける学習にしていきたい。

単元の指導および協働的な学びの場の設定について

児童は、1学期の「災害について知ろう」の単元で興味をもって身近な防災について調べ学習を行うことができた。しかし、「熊野町では公助についてしっかり考えられているから安心。」「体験的な学習ができて楽しい。」と考えている児童が多く、命に関わる課題としての捉えがまだ十分ではない。しかし、いくらかの知識は得てきているので、防災について分かったつもりになっている。

課題設定の場面では、まず、7月に避難指示が出た時に避難しなかったことを想起させ、なぜ避難しなかったのか考えさせることを通して、災害の本当の恐ろしさを分かっていることに気付かせ、防災についてもっと知り、命を守る学習をしていかないといけないという想いをもちさせた。また、熊野町の防災備蓄倉庫の見学をし、これだけの備蓄がされているから安心だという思いをもった児童に対し、熊野町防災安全課の方から「備蓄倉庫内の食料や水では3日しか全町民に対応できないので食料などは各家庭で備蓄してほしい」という思いを伝えてもらい、自分たちの捉えとのズレに気付けるようにする。また、国土交通省防災教育ポータル子ども向け動画「洪水から身を守るには～命を守るための3つのポイント～」を観て、具体的に避難する時の注意点や、気付いていなかった危険がまだたくさんあることを知り、熊野でいつ災害が起きても大丈夫とは言い切れないことに気付いていけるようにする。

このように、これまでの自分たちの学びだけでは防災・減災への対策が不十分であることや自分たちの捉えと防災安全課の方との考え方にもズレや隔りがあることに気付かせ、新たな単元の課題設定に繋げる。また、『命を守るために、今の自分にできることは？』という単元を貫く問いを全員で考え設定することで、どのように学習を進めていけばよいのか、随時振り返ることができるようにしていく。また、1学期のアンケートで自分たちがやってみたくて考えていたことをできる限り実現させることで、主体的に活動を進めていけるようにする。その際、1学期のアンケートで、防災の学習で自分たちがやってみたくて考えていたことを、できるだけ実現させることで、主体的な活動を深めていけるようにする。

情報の収集の場面では、熊野町防災安全課と再度連携をとりつつ、児童自ら課題解決に向けてインタビューができるようにしたり、地域の方や家庭とも連携を図りながらアンケート調査やインタビューができるようにしたりして、身近な方の声・言葉から地域の実態に触れる場を設定していく。また、自分の通学路や家の周り、避難所までの経路に災害が起こりそうなところがないかを実際に歩いて、調査をする。ICTを効果的に活用し、クラスみんながそれぞれ集めた情報を共有する場を設け、タブレットで撮影した写真やPadlet Mapで、「5-1防災ハザードマップ」を作成していくことにつなげる。地域の人との交流や友達と協働的に学習を進めることにより、相手意識や、仲間意識を生み出していけるものと考えられる。

整理・分析の場面では、それまでに集めた情報を効果的に表現活動に生かしていけるように、考えるための技法（フィッシュボーン図）を活用する。説得力をもって伝えるために、根拠となる資料や表現の方法を選択する際などに活用し、可視化することにより、児童が情報の整理・分析を協働して行えるようにする。伝える内容を選択する場面においても、教師が場の設定を意図的に行ったり、内容を決めたりするのではなく、児童が共に考え、最善の表現方法、伝えたい相手にとって必要な情報が伝えられるような議論の場を繰り返しもつことで、まとめ・表現の場において児童の主体的な表現活動につなげられるようにしていく。

まとめ・表現の場面では、他学年の児童や保護者に向けて、探究的な学習で学んだことや考えたことについて学習発表会で伝え、次単元の「命を守るために」につなげていきたい。学習発表会での発表以外にも、自分たちにできることとして、やってみたくてという思いがもてた活動は、できる限り実現していけるようにし、新たな探究のスパイラルへと誘い、災害から「命を守る」ために自分たちにできることについて行動する場へとつなげていきたい。

児童がそれぞれに集めた情報を共有する協働的な学びの場を随時設定することにより、多様な情報に触れる機会になっていることを確認しながら授業を進めていく。また、友達と異なる視点から検討することによって、深まりのある考え方が出てくると考えられる。このように、繰り返し協働的な学習活動を行うことで、児童が多様な視点を獲得し、お互いを高め合い、学習を活動的で魅力的なものとしていき、探究的な学習の実現につなげ、さらに本校の育成したい資質・能力の自分の考えを表現する力の向上につなげていきたい。

単元の目標と評価規準

【単元の目標】

- 自然災害から命を守るために、様々な災害や命を守るための対策などについて調べたり、地域で活動している方や友達と協働して活動したりすることを通して、命を守るための方法や行動の仕方、防災・減災に取り組む人々の思いや願いを理解し、自分やみんなの命を守るために今後の防災・減災の在り方について考え、自らの生活や行動に生かすことができる。

【評価規準】

知識・技能 わかる・できる	思考・判断・表現 自分の考えを表現する力	主体的に学習に取り組む態度	
		協働する力	振り返る力
① 自然災害や防災・減災について知るとともに、災害から身を守るために自助・公助・共助の考え方があり、それらが相互に連携していることや、自分たちの生活と関わっていることを理解している。 ② インタビューやアンケートなどによる調査を、目的や場面に応じた方法で実施している。 ③ 命を守る意識と防災・減災の重要性への認識の高まりは、自然災害や防災・減災と自分たちの生活との関係を探的に学習してきたことの成果であると気付いている。	① 命を守る防災・減災の在り方について、防災・減災の必要性から課題を設定し、解決に向けて自分たちにできることを見通している。 ② 自然災害や防災・減災の在り方をよりよく理解するために必要な情報を調査する対象に応じた方法を選択し収集している。 ③ 命を守ることを常に意識し、必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したりしながら課題解決に向けて考えている。 ③ 活動を通して学んだ防災・減災に関する内容やこれからの生活について、相手に応じた情報を伝えるために、筋道を立てて思考を深め、効果的な表現方法を選んで伝えている。【自分の考えを表現する力】	① 自然災害や防災・減災に関心をもち、地域社会との関わりの中で、自分たちにできることを見付けようとしている。 ② 命を守る防災・減災の在り方について、自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協力して探究的な学習に取り組んでいる。【協働する力】 ③ 自然災害や防災と自分たちの生活との関わりに気付き、自分自身の考えの変容を基に、命を守る行動の重要性を訴えようとしている。	

本単元で育成を目指す資質・能力のルーブリック

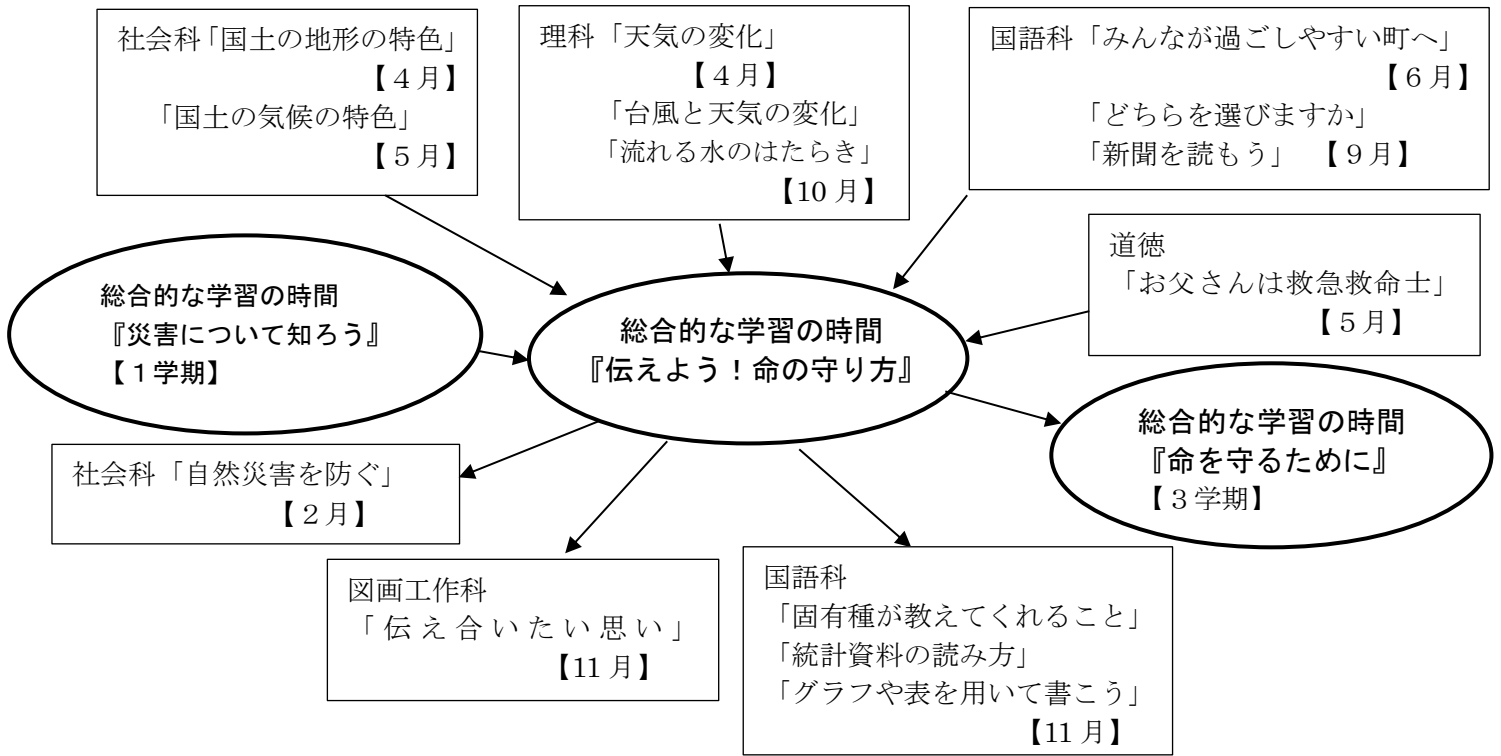
	Aの例	B	Bに到達させるための手立て
自分の考えを表現する力	<ul style="list-style-type: none"> 活動を通して学んだ防災・減災に関する内容やこれからの生活について、相手や目的、意図に応じた情報を伝えるために、筋道を立てて思考を深め、資料を活用するなど効果的な表現方法を選び、自分たちからの思いや願いも含めて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動を通して学んだ防災・減災に関する内容やこれからの生活について、相手や目的に応じた情報を伝えるために、筋道を立てて思考を深め、資料を活用するなど効果的な表現方法を選んで伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識や自分の考えを明確にするために、考えるための技法を用いて集めた情報を分析しやすくしたり、可視化して考えを伝えやすくしたりする。 安心して自己表現ができるような環境を作ったり、話し合う機会を何度も設けたりする。
協働する力	<ul style="list-style-type: none"> 命を守る防災・減災の在り方について、自他の 	<ul style="list-style-type: none"> 命を守る防災・減災の在り方について、自他の良 	<ul style="list-style-type: none"> 同じような内容で調べている児童にチームで行動でき

	良さを生かしながら、新しい考えを生み出し、協力して探究活動に取り組んでいる。	さを生かしながら協力して探究活動に取り組んでいる。	るよう声をかけ、具体的な役割をもてるようにする。 ・友達の意見を聞いて、自分との共通点や相違点を見付けるように声をかける。
--	--	---------------------------	--

本時で育成を目指す「協働する力」のルーブリック

	Aの例	B	Bに到達させるための手立て
協働する力	自分の意見と友達の意見を比べながら聞き、それぞれの良さを生かしながら、新しい考えを生み出し、伝えたい事柄を書いている。	自分の意見と友達の意見の違いや、それぞれの良さをみつけて、伝えたい事柄を書いている。	・友達の発言を聞いて、自分との共通点や相違点を見付けるように声をかける。 ・話し合っていることを聞いて、他の人の意見の良さを見付けるように声をかける。

他教科等との関連



指導と評価の計画

	学習内容『伝えよう！ 命の守り方』 (時数：30 時間)	主たる評価規準
—	<u>課題の設定</u> ○熊野町の生活を「防災・減災」の視点で振り返る。 (4) ・7月の避難指示での行動について振り返る。 ・防災備蓄倉庫を見学する。 ・国土交通省 防災教育ポータル子ども向け動画「洪水から身を守るには～命を守るための3つのポ	<u>思考・判断・表現</u> ①命を守る防災・減災の在り方について、防災・減災の必要性から課題を設定し、解決に向けて見通しをもって自分たちにできることを考えている。 <u>主体的に学習に取り組む態度</u> ① 自然災害や防災・減災に関心をもち、地

	<p>イント～」を観て、これまでの学習を振り返り、命を守るために今自分にできていないことや必要なことが何かを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 学期に実施したクラスの西日本豪雨での記憶や、防災に関してやってみたいことなどのアンケートの結果を交流し、熊野町での生活を「防災・減災」の視点から振り返り、熊野町は安心・安全が確保されているか考えさせることで、自分たちを取り巻く防災に疑問をもち、情報収集へ向けての意欲を高める。 <p>○自分たちを取り巻く防災について調査する内容や方法を検討する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何を、どこで、どのような方法で調査するのかを検討し、明確にする。(インターネット、見学、アンケート調査、インタビュー、実地調査等) 	<p>域社会との関わりの中で、自分たちができることを見付けようとしている。</p> <p>② 命を守る防災・減災の在り方について、自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協力して探究的な学習に取り組んでいる。【協働する力】</p>
	<p style="text-align: center;">命を守るために、今の自分にできることとは？</p> <p><u>情報の収集</u></p> <p>○日本・広島・熊野町の防災について、命を守るためにという視点から調査する。(10)</p> <p>《詳しい方に尋ねてみる》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的機関の方々に西日本豪雨の災害発生時の状況をインタビューする。 ・校長先生に西日本豪雨発生時の様子について話を聞く。 ・身近な人に西日本豪雨の時の様子をインタビューする。 ・大原ハイツでの状況について、被災住民の方に話を聞く。 <p>《自分たちで情報を集めてみる》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西日本豪雨・東日本大震災・阪神淡路大震災等について、書籍やインターネットで調査する。 ・保護者や6年生などに対して、聞いてみたいことをまとめ、アンケートを作成・実施する。 ・非常持ち出しグッズについての確認をする。 ・自助・共助・公助について確認する。(阪神・淡路大震災災害救助の現実資料) ・熊野町防災ハザードマップで自宅周辺の危険度や避難経路の確認をする。 ・自分の通学路や家の周り、避難所までの経路に災害が起こりそうなところがないか調査する。 <p>《集めた情報を交流する》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査したことを交流する。 ・Padlet Map で、「5-1 防災ハザードマップ」としてまとめる。 ・「釜石の奇跡」のDVDを観て、これまで自分が集めてきた情報を、みんなの命を守るためにどう生かしていくか考える。 	<p><u>思考・判断・表現</u></p> <p>② 自然災害や防災の在り方をよりよく理解するために必要な情報を、調査する対象に応じた方法を選択し収集している。</p> <p><u>知識・技能</u></p> <p>① 自然災害や防災・減災について知るとともに、災害から身を守るために自助・公助・共助の考え方があり、それらが相互に連携していることや、自分たちの生活と関わっていることを理解している。</p> <p><u>主体的に学習に取り組む態度</u></p> <p>② 命を守る防災・減災の在り方について、自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協力して探究的な学習に取り組んでいる。【協働する力】</p>
	<p style="text-align: center;">命を守るために、今の自分にできることとは？</p>	

<p>三</p>	<p>整理・分析</p> <p>○調査によって収集した防災に関する情報を整理・分析する。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を見直し、欠如する部分等においては追加調査しながら整理する。 ・自助、共助、公助を意識しながら分類する。 ・どんな目的で、どのように伝えていくのか伝える場面について確認する。 ・収集した情報の中から、保護者・地域の方に、命を守るために伝えたいことを3つのテーマに整理する。 <p>(例：日本で起こった大災害、西日本豪雨での被害と復興、防災・減災に向けた取組、避難所での生活、ハザードマップと避難経路、被災した人の経験からの学び)</p> <p>(相手意識や目的意識などを明確にしながらかテーマを決めていく。)</p> <p>○3つのテーマについて、説得力をもって伝えるために、家族や地域の方に伝えたい具体的な内容を考える。(3)【本時 2/3】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>命を守るために、今の自分にできることは？</p> </div>	<p>思考・判断・表現</p> <p>③ 命を守ることを常に意識し、必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したりしながら課題解決に向けて考えている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>② 命を守る防災・減災の在り方について、自分と違う意見や考えのよさを生かしながらか協力して探究的な学習に取り組んでいる。【協働する力】</p> <p>知識・技能</p> <p>① 自然災害や防災・減災に関心を持ち、地域社会との関わりの中で、自分たちができることを見付けようとしている【協働する力】</p>
<p>四</p>	<p>まとめ・表現</p> <p>○整理・分析したことをもとに、災害から「命を守る」ために大切なことを伝える。(9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を意識して、伝えたいことをまとめる。 ・自分たちの思いや願いが伝えられるような工夫をしながら準備する。 ・学習発表会で伝えたいことを発表する。 ・防災関連グッズ、防災の心構えなどをまとめたリーフレットや自分たちが作成したハザードマップなどを作成し配布する。 	<p>思考・判断・表現</p> <p>④ 活動を通して学んだ防災・減災に関する内容やこれからの生活について、相手に応じた情報を伝えるために、筋道を立てて思考を深め、効果的な表現方法を選んで伝えている。【自分の考えを表現する力】</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>② 命を守る防災・減災の在り方について、自分と違う意見や考えのよさを生かしながらか協力して探究的な学習に取り組んでいる。【協働する力】</p> <p>知識・技能</p> <p>③ 命を守る意識と防災・減災の重要性への認識の高まりは、自然災害や防災・減災と自分たちの生活との関係を探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>④ 自然災害や防災と自分たちの生活との関わりに気づき、自分自身の考えの変容を基に、命を守る行動の重要性を訴えようとしている。</p>

本時の学習（20/30 時間）

本時の目標

選んだテーマについて、自他の考えのよさを見付けながら、伝えたい内容を考えることができる。

- (1) 準備物 電子黒板，ワークシート，拡大フィッシュボーン図
 (2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 ◎支援を要する児童への手立て	評価規準 (評価方法)
1 課題の設定		
○前時までの学びを振り返る。	・前時で話し合った，1つ目のテーマでまとまった伝えたいことについて確認する。	
2 めあての設定		
○めあてを確認する。		
<p>【めあて】 家族や地域の方に伝えたい具体的な内容を考えることができる。 PART 2</p>		
3 自分の考えをもつ		
○自分が PART 2 のテーマに関わって伝えたいと思うことをワークシートにできるだけ多く記入する。 ○自分が書いた伝えたいことの中から，特に伝えたいものに丸印をつけ，そう考えた理由も記入する。	◎これまで学習してきたことを基に，ワークシートなどを振り返りながら考えていけるようにする。	
★4 協働的な学びの場		
○ PART 2 のテーマで伝えたいと考えたことと，その中で特に伝えたいと考えたもの，またそう考えた理由をグループ内で伝えたり，友達の考えを聞いたりする。 ○グループの中で，特に伝えたいと考えたことの中からこれこそは！と思えるものを理由も含め1つ，決定する。	◎友達の考えと自分の考えを比較し，共通点や違い，納得させられた点などをメモしながら聞けるようなワークシートにする。 ・知っていることをただ伝えるのではなく，命を守るためにどんなことを伝えないといけないのか考えていけるようにする。 ・理由に色々な人の考えを加えていくことで，誰もが納得できるものに近付けるようにする。	
5 本時のまとめ		
○各グループで話し合った意見を交流する。	・友達のどんな意見に考えさせられて，これこそはと思うものを選んだのか伝えられるようにする。	
6 本時の振り返り		
○本時の振り返りをワークシートに書く。	◎自分の考えだけでなく，誰のどんな意見を参考に考えを広めたり深めたりしたかを，振り返るように声をかける。	・命を守る防災・減災の在り方について，自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協力して探究的な学習に取り組んでいる。【協働する力】（ワークシート）

板書計画

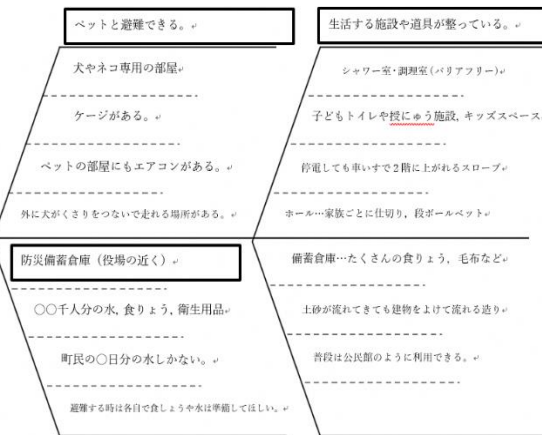
め

家族や地域の方に伝えたい具体的な内容を考えることができる。
PART 2

特に印象に残った友達の発言

- ・必要な食糧備蓄量
- ・ローリングストック
- ・ペットへの備え

熊野東防災
交流センターと防災備
蓄倉庫につ
いて知っ
てもらおう。



参考文献

- ・文部科学省 (2017年) 『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編』東洋館出版社
 - ・国立教育政策研究所教育課程研究センター (2020年) 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 総合的な学習の時間】』東洋館出版社
 - ・文部科学省 (2021年) 『今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(小学校編)』アイフィス
 - ・国土交通省 (2020年) 『総力戦で挑む防災・減災プロジェクト～いのちとくらしをまもる防災減災～』
 - ・国土交通省 (2020年) 『みんなで始める防災・減災～国民一人一人ができること～』
 - ・朝倉 淳・永田 忠道 (2019年) 『総合的な学習の時間・総合的な探究の時間の新展開』学術図書出版社
 - ・田村 学 『授業を磨く』(2015年) 東洋館出版社
 - ・田村 学 『学習評価』(2021年) 東洋館出版社
 - ・田村 学 『生活・総合 資質・能力の育成と学習評価』(2022年) 東洋館出版社
 - ・藤井 千春 『問題解決学習で育む「資質・能力」－誠実な対話力、確かな情動力、互恵的なつながり力』(2020年) 明治図書出版
 - ・西岡 加名恵 (2016年) 『アクティブ・ラーニングをどう充実させるか 資質・能力を育てるパフォーマンス評価』明治図書出版株式会社
- 【参考 web ページ】
- ・広島県危機管理監 みんなで減災推進課 『広島県「みんなで減災」はじめての一步 ひろしまマイ・タイムライン』(<https://www.gensai.pref.hiroshima.jp/mytimeline/making/>) (最終閲覧日: 2022年9月22日)
 - ・国土交通省 防災教育ポータル
子ども向け動画「洪水から身を守るには ～命を守るための3つのポイント～」(平成30年3月8日公開) (<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>) (最終閲覧日: 2022年9月7日)
 - ・黒上晴夫 (2012年4月30日公開) 『シンキングツール～考えることを教えたい～』NPO法人 学習創造フォーラム (http://ks-lab.net/haruo/thinking_tool/) (最終閲覧日: 2022年9月23日)